

介福祉合格率84%超

過去最高を記録

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（東京都渋谷区）は3月24日、第35回介護福祉士国家試験の結果を発表。受験者数7万9151人のうち、合格者は6万6711人、合格率は84.3%となった。

受験者数は年々減少

傾向にあり、今回6年ぶりに8万人を下回り7万人台であった一方で、合格率は過去最高を記録。初の80%台となった。なお、2023年2月末現在の介護福祉士登録者数は18万4926人。

合格者の内訳は、女性が70.1%、男性が29.9%。受験資格別に見ると、多い順に「介護福祉施設の介護職員等」が62.1%、「訪問介護員等」が12.9%、「介護福祉士養成施設」が8.8%など。年齢別では、20代が25.4%で最多となり、次いで40代が25.3%、30代が19.4%、50代が18.3%。都道府県別では、大阪府が最多で5775人、次いで東京都307人、神奈川県4668人となった。